

第二章活用事例

「すべては天命を果たすために」

— 伊能 忠敬 —

小学校五・六年生版

「心たくましく」 p.40
～
p.47

【主題名】 自分の役割を果たす

第五学年及び第六学年 4・(3)

「身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。」

【ねらい】 自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとする態度を育てる。

《ねらいとする道徳的価値について》五・六年生の時期の児童は、学級集団、児童会やクラブなどの異年齢集団、遊び仲間などの身近な集団など様々な集団に所属しています。困難に直面しても自分の役割や責任を果たした人物の生き方に触れさせながら、所属する集団での自分の姿を真剣に見つめさせ、自分も役割や責任を果たしていこうとする意欲や目標を達成していこうとする姿勢を身に付けさせることが大切です。

導入



「伊能忠敬の作った日本地図を知っていますか。」

- 「心たくましく」 p.42の江戸時代に使われていた地図を作るための器械の写真と p.47の伊能忠敬の地図を掲示しましょう。
- 五十歳の時から勉強を始めた伊能忠敬が、重い器械を担いで歩いて測量したことや地図の正確さを紹介して、資料への興味をもたせましょう。

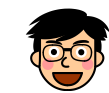
○ 教師が「すべては天命を果たすために」を読み聞かせましょう。



「地図を作る許可が幕府から出るのを長い間待っていた時、忠敬は空の星を見上げてどのようなことを考えていたでしょうか。」

- 後世に残る地図を作りたいという意欲と、自分にできるのか、やらせてもらえるのかという不安との間で揺れ動く忠敬の心情を捉えさせ、中心発問につなげましょう。

中心発問



「測量する先で、大変なことが次々に起こった時、忠敬は、どのような気持ちだったでしょうか。」

- 「忠敬の仕事は幕府の仕事」となっていたことや「ていねいな言葉で説明する」、「小さな体で割って入り、もめごとを収める」、「助手がなくなる」といった部分に着目させ、忠敬が、困難に直面しても自分の役割や責任を黙々と果たそうとしていたことを捉えさせましょう。

《評価》

自分の役割を自覚し、困難に負けずにやり通すことの尊さやそれを支える強い気持ちについて考えを深めることができるか。



「自分の仕事の人々から認められるようになった時、忠敬は、どのような思いだったでしょうか。」

- 役割を果たした時の忠敬の気持ちについて話し合い、自分の役割を自覚し責任をもって果たしていくことについて考えを深めさせましょう。



「あなたは、どのような集団でどのような役割を果たしていますか。また、どのような気持ちで果たしていると思いますか。」

- 「心たくましく」 p.126 ～ p.127 「⑰集団の中で自分の役割を果たす」の「自分の役割を、どんな気持ちで果たしている」という思いですか?」の欄に記入させ、発表させましょう。

終末

- 目立たぬところで黙々と役割に対する責任を果たしている児童の話をししましょう。
- 「心たくましく」 p.27の和辻哲郎のこぼれ話を読み、授業のまとめとしても活用しよう。

板書例

すべては天命を果たすために — 伊能 忠敬 —

伊能忠敬らが描いた
日本地図の写真

江戸時代に使われて
いた地図を作るため
の器械の写真

忠敬は空の星を見上げてどのようなことを考えていたでしょうか。

- 高齢の自分にできるだろうか。
- 許可が出たら、がんばりたいが、失敗できない。
- 日本地図を自分の力で作りたい。

測量する先で、大変なことが次々に起こった時、忠敬は、どのような気持ちだったでしょうか。

- つらい。本当に自分に地図を上げることができるのだろうか。
- 頼りにしていた助手の分も、自分ががんばっていかないといけない。
- 日本地図を作るといふ自分の仕事を、最後まで自分がやりとげなければ。
- 何があっても、日本のために地図を仕上げよう。

もめごとを収めている
忠敬の挿絵

自分の仕事の人々から認められるようになった時、忠敬は、どのような思いだったでしょうか。

- 自分の力が国の役に立ち、責任を果たすことができた。
- 高橋至時や測量の仲間の協力があってこそできた。

どのような集団でどのような役割を果たしていますか。どのような気持ちで果たしていると思いますか。

- 栽培委員会で、花の水やりや手入れをしている。学校のみんなが喜んでくれるように花だんの世話をしている。
- 図書当番を忘れた時、低学年の子が待っていた。責任を感じた。それ以来、責任感をもって仕事をしている。

《評価》

忠敬の生き方に共感し、自分の役割を自覚して主体的に責任を果たそうとする態度を育てることができたか。